

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

## 平成24年度の事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人 全国国際教育協会

### 1 事業の成果

今年度は、平成22年度に開始したグローバル教育や開発教育に関する方策や情報提供、教材開発等に関する事業を継続発展させて、下記の通り行った。また、全国国際教育研究協議会東京大会に協賛し、本協会としても参加した。全国組織確立のため、地区委員会の活動支援のための基盤づくりを進めた。

#### 1) 特定非営利活動に係る事業

- (1) 開発教育・グローバル教育などに関する人材育成、普及推進、政策提言等の事業
  - ・外務省が主催している「グローバル教育コンクール」に協賛し、グローバル教育の普及推進のため、学校教育のネットワークを通じて同コンクール参加を広く呼びかけた。
- (2) 開発教育・グローバル教育などに関する調査研究、資料・情報の収集・提供等の事業
  - ・WEB サイトにて「グローバル教育の集い」、「英語コミュニケーションのための聴覚チューニング」講演会の実施報告を行った。
- (3) 講演会・講習会・研究会・研修会・発表会等の開催
  - ・平成24年8月に開催された第49回全国国際教育研究大会(東京大会)に協賛し、本協会として参加するなどした。
  - ・東京都内の中高等学校教員を対象に「英語コミュニケーションのための聴覚チューニング」講習会を開催した。
- (4) 国内・国外の関係諸機関との連携事業
  - ・国際理解・国際協力等のための研修や学習を進めるために、ブルキナファソからの留学生を都内の小学校および高等学校に派遣した。
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
  - ・拓殖大学茗荷谷キャンパスで開催されたグローバル教育フォーラムを後援し、参加した。

#### 2) その他の事業

- (1) 開発教育・グローバル教育などに関する広報紙並びに機関誌、教科書並びに教科書副読本、その他図書・書籍類の刊行及び教材・教具の開発
  - ・地球社会の課題に対する参加型学習による問題解決能力の開発を目指す教科書副読本の編集を進めてきた。学校教育においてばかりでなく、広く社会教育においても活用が期待される内容構成として、『グローバル教育』の書名で、平成24年3月末に刊行し、配布、販売した。
  - ・本協会が作成した外国語学習カードの販売を進めた。
- (2) 開発教育・グローバル教育などに関するコンテスト、コンクール、体験発表会等の支援
  - ・JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト(高校生の部)の一次審査を行った。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	収支計算書の 事業費の金額 (単位:千円)
開発教育・グローバル教育などに関する人材育成、普及推進、政策提言等の事業	グローバル教育コンクール(主催:外務省)への後援	(A)6月1日～ 3月31日 (B)全国 (C)6名	(D)コンクール応募者・教育関係者 (E)約2200名	0
開発教育・グローバル教育などに関する調査研究、資料・情報の収集・提供等の事業	WEBコンテンツの制作(「グローバル教育の集い」報告、「英語聴覚チューニング」報告)	(A)4月～3月 (B)東京都 (C)2名	(D)WEBサイト閲覧者 (E)約5000人	0
講演会・講習会・研究会・研修会・発表会等の開催	平成24年8月に開催された第49回全国国際教育研究大会(東京大会)への協賛、参加	(A)8月 (B)JICA地球ひろば (C)5名	(D)全国の高等学校の校長、教員、生徒 (E)約150名	0
	東京都内の中学・高等学校教員を対象に「英語コミュニケーションのための聴覚チューニング」講習会を開催	(A)2月 (B)東京都立駒場高校 (C)4名	(D)高等学校の教員、生徒 (E)約40名	0
		(A)3月 (B)東京都立世田谷総合高校 (C)1名	(D)高等学校の教員、生徒 (E)約40名	
国内・国外の関係諸機関との連携事業	ブルキナファソからの留学生を都内の小学校および高等学校に派遣	(A)6月～12月 (B)東京 (C)6名	(D)小学校および高等学校の生徒、保護者 (E)約100名	0
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	拓殖大学茗荷谷キャンパスで開催されたグローバル教育フォーラムの後援、参加	(A)12月15日 14:00～17:45 (B)拓殖大学茗荷谷キャンパス (C)3名	(D)教員、機関・企業職員、高・大生 (E)約50名	0

## (2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支計算書の事業費の金額 (単位:千円)
開発教育グローバル教育などに関する広報紙並びに機関誌、教科書並びに教科書副読本、その他図書・書籍類の刊行及び教材・教具の開発	外国語学習カード教材の販売	(A)4月～3月 (B)全国 (C)7名	(D)教育関係者 (E)約120名	91
教科書副読本、その他図書・書籍類の刊行及び教材・教具の開発	グローバル教育用教科書副読本の販売	(A)4月～3月 (B)全国 (C)7名	(D)教育関係者 (E)約5名	8
開発教育・グローバル教育などに関するコンテスト、コンクール、体験発表会等の支援	JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト(高校生部の)の一次審査の実施	(A)8月～12月 (B)東京都 (C)18名	(D)全国の国際協力エッセイコンテスト応募者 (E)8930名	970

平成25年度の事業計画書  
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 全国国際教育協会

## 1 事業の全体計画

今年度はグローバル教育や開発教育に関する方策や情報提供、教材や教具の開発等に関する事業を継続発展させて、下記の通り行うものとする。また、インターネットを活用した広報や情報・知見の共有を拡充する。全国組織確立のため、昨年度に引き続き、地区委員会の活動支援のための基盤づくりを進めていく。

### 1) 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 開発教育・グローバル教育などに関する人材育成、普及推進、政策提言等の事業

- ・JICA が主催している「グローバル教育コンクール」を後援し、グローバル教育の普及推進のため、学校教育のネットワークを通じて同コンクール参加を広く呼びかける。
- ・グローバル教育に関わる研究・実践を行っている団体などを支援する。
- ・eラーニングを活用した国際教育を推進する事業を開始する。JICE と連携して行う。

#### (2) 開発教育・グローバル教育などに関する調査研究、資料・情報の収集・提供等の事業

- ・開発教育・グローバル教育に活用できる世界各地の写真を収集し、WEBコンテンツにとりまとめて「グローバル教育新聞」「グローバル教育マガジン」を制作し、当協会のWEBサイトで閲覧できるように、資料提供する。

#### (3) 講演会・講習会・研究会・研修会・発表会等の開催

- ・学校教員を対象とした研修として、外国語学習カード等の教材活用方法、教材制作方法の研修を行う。
- ・英語回路指導法プログラム事業を継続、推進する。

#### (4) 国内・国外の関係諸機関との連携事業

- ・「東南アジア高校生大交流事業」を実施している(財)日本国際協力センターと連携し、海外から訪日する高校生の受け入れ学校の調整を支援する。
- ・国内の外国大使館職員等を学校に派遣して、国際理解・国際協力等のための研修や学習を進めるために、学校と大使館との間に必要な連携協力関係を作る仲介を行なう。

#### (5) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・拓殖大学八王子キャンパスで開催される日本の高校生と海外からの留学生との国際交流事業に対し、助成を行う。

### 2) その他の事業

#### (1) 開発教育・グローバル教育などに関する広報紙並びに機関誌、教科書並びに教科書副読本、その他図書・書籍類の刊行及び教材・教具の開発。

- ・地球社会の課題に対する参加型学習による問題解決能力の開発を目指す教科書副読本の編集・発行をもとに、その活用状況の把握に努めるとともに、有効な活用方法について検討する。
- ・外国語学習カードの有効な活用方法について検討する。

#### (2) 開発教育・グローバル教育などに関するコンテスト、コンクール、体験発表会等の支援

- ・国際協力エッセイコンテスト事業の推進をはかり、参画する。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	収支計算書の 事業費の金額 (単位:千円)
開発教育・グローバル教育などに関する人材育成、普及推進、政策提言等の事業	グローバル教育および研究・実践を支援する	(A) 6月1日～ 3月31日 (B) 全国 (C) 7名	(D)コンクール応募者・教育関係者 (E) 約2200名	20
	eラーニングを活用した国際教育推進	(A) 4月1日～ 3月31日 (B) 全国 (C) 7名	(D)開発途上国の研修検討者 (E) 約200名	0
開発教育・グローバル教育などに関する調査研究、資料・情報の収集・提供等の事業	WEBコンテンツ(グローバル教育新聞・グローバル教育マガジン)の制作	(A) 4月～3月 (B) 全国 (C) 2名	(D)WEBサイト閲覧者 (E)約5000人	0
講演会・講習会・研究会・研修会・発表会等の開催	東京都教員向け研修会の開催(外国語学習カード等の教材活用研修会)	(A) 4月～3月 (B) 関東 (C) 7名	(D)関東の教員および教育関係者 (E)約30名	0
	グローバル教育セミナー、英語回路指導法プログラム研修会の開催	(A) 4月～3月 (B) 関東 (C) 7名	(D)関東の教員および教育関係者 (E)約30名	30
国内・国外の関係諸機関との連携事業	(財)日本国際協力センターとの連携によるJENESYS(東南アジア高校生大交流事業)事業の支援	(A) 6月～12月 (B) 東京・神奈川 (C) 7名	(D)東南アジアからの訪日高校生、日本の受け入れ側学校 (E)約500名	0
	国内の外国大使館職員等の学校派遣	(A) 6月～12月 (B) 東京・神奈川 (C) 7名	(D)関東の教員および教育関係者 (E)約30名	50
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	日本の高校生と海外からの留学生との国際交流事業への助成事業	(A)12月 15:30～17:00 (B) 拓殖大学八王子キャンパス (C) 3名	(D)留学生および日本の高校生 (E)約50名	30

## (2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支計算書の事業費の金額 (単位:千円)
開発教育グローバル教育などに関する広報紙並びに機関誌、教科書並びに教科書副読本、その他図書・書籍類の刊行及び教材・教具の開発	外国語学習カード教材の販売	(A)4月～3月 (B)全国 (C)7名	(D)教育関係者 (E)約120名	30
開発教育・グローバル教育などに関するコンテスト、コンクール、体験発表会等の支援	グローバル教育用教科書副読本の販売	(A)4月～3月 (B)全国 (C)7名	(D)教育関係者 (E)約5名	8
開発教育・グローバル教育などに関するコンテスト、コンクール、体験発表会等の支援	JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト(高校生の部)の一次審査の実施	(A)8月～12月 (B)東京都 (C)18名	(D)全国の国際協力エッセイコンテスト応募者 (E)8930名	970